

第5学年国語科学習指導案

単元名 筆者の工夫を取り入れながら調べたことを意見文にまとめよう

～SOS！地球の緑を守れ！～

教材名 「森林のおくりもの」 富山和子作 （東京書籍 小学校5年下）

1 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、前単元の「動物の体」で「動物のひみつブックを書こう」という学習を経験している。この学習では、2年生に動物のひみつを伝えるという目的をもって文章を書く活動を行った。分かりやすく伝えるためにはどんな文章構成で書けばいいのか、どんな表現をすればいいのかを考える学習を通し、必要に応じて図書を選んで読んだり、必要な事柄を取り出して整理したりする力を付け始めている。しかし、意欲的に複数の本や文章を読んで比べたり、調べたことに自分の考えをもち、それを広げたり深めたりするまでには至っていない。また、読みを学び合う学習では、自分の考えをもちながら全体の場ではなかなか発言できなかつたり、友達の意見を受けて発言することができなかつたりする児童も多く、読みの深まりや広がりが少ない。

そこで、本単元では、児童に学びの見通しと課題意識をしっかりとらせ、意欲的に学習できる言語活動を位置付けたい。

(2) 教材観

本単元は「森林のおくりもの」を教材に、筆者の工夫を取り入れながら調べたことを意見文に書き伝え合う学習を設定する。

本教材「森林のおくりもの」は、「森は生きている」の第1章「日本は森の国です」を基に、教科書用に書き下ろされた文章である。文章は39の段落からなり、序論－本論－結論の尾括型の構成になっている。序論では、ヨーロッパと日本を比較しながら森林にめぐまれた「木のくらし」ぶりを取りあげ、本論に導いている。本論では、大きく二つの観点から「森林のおくりもの」を挙げ、森林のすばらしさを伝えている。一つは、「木材」「紙」「火」といった目に見える「おくりもの」で、もう一つは、「水を絶やさない働き」「山崩れや水害から平野を守る働き」「水田に絶えず土と養分を補う働き」といった目に見えない「おくりもの」である。そして、結論で筆者は「森林は先祖からのかけがえのない遺産であり、緑豊かな国土に生まれたことの幸せに感謝し、森林を育てる仕事のすばらしさ尊さを考えなければならない」と主張し、読み手に呼びかけている。

この文章には、筆者の思いを主張するために、題名の工夫や事例の挙げ方、問題提示や呼びかけ、強調表現や擬人法など、さまざまな論の述べ方の工夫が見られる。児童は、それらの工夫や問いかけを基に、自分の考えをもちながら読み進めることができるだろう。また本教材は、環境を考える契機となり、主張を分かりやすく心に訴える表現は、意見文を書くときの参考になるであろう。

(3) 指導観

本単元には、調べたことを意見文にまとめる言語活動を位置付ける。これは、第5学年及び6学年「B書くこと」(2)②イの「自分の課題について調べ、意見を記述した文章を書いたり編集したりする」言語活動にあたる。教材文は、「意見文を書く」という目的をもって読ませる。「C読むこと」(2)①ウ「目的に応じて文章の内容を的確に押えて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらか読む」ことや(2)①カ「目的に応じて複数の本や文章を選んで読み」・オ「考えたことを発表

し合い自分の考えを広げたり深めたりする」ことを関連を図ることで効果的に指導していきたい。

導入では、児童の「意見文を書く」という目的意識をもたせるために、筆者の呼びかけに注目させ、地球を守るための意見文を書いてみたいという意欲を喚起し、教材文で筆者の意見文の述べ方の工夫を読み取る必然性をもたせる。教材文を読み取る段階では、「森林」「おくりもの」というキーワードや筆者の論の述べ方の工夫を手掛かりに、筆者の主張とその根拠を読み取らせていく。教材文を通して学習した筆者の工夫は、意見文を書く時のポイントとなることを押さえ、環境問題について調べ、意見文を書く段階で生かせるよう指導していく。書き上がった意見文を発表する場としては、同時に多くの子どもが発表できる「ポスターセッション」を取り入れ、同じ問題意識をもった同学年の児童同士で互いに発表・交流させる。これは、すでに3年次で学習している発表形式であり、少人数での活発な意見交換や友達の意見文の良さを発見する利点が期待できる。自分の意見を明確に伝えようと意識しながらポスターセッションを行うことで、分かりやすく伝え合う力を育てていきたい。

2 単元の指導目標

- (1) 文章の構成や述べ方の工夫に注意して筆者の考えを読み取ることができる。
- (2) 自分の考えが明確に伝わるように、文章の組み立ての効果を考えたり、事実と意見を区別したりしながら意見文を書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心 ・意欲・態度	1 問題意識をもって課題に取り組んだり、意見の書き方を工夫しながら調べたことや伝えたい考えを明確にしたりしようとしている。
イ 話す・聞く能力	1 資料を差しながら、聞き手に自分の考えが伝わるように発表している。 (A話すこと・聞くこと②①イ) 2 自分の考えと友達の考えを比べながら聞き、質問や感想を言っている。 (A話すこと・聞くこと②①エ)
ウ 書く能力	1 全体を見通して書く事柄を整理し、意見とその根拠となる事例の関わりが明確になる文章の組み立て方を考えながら書いている。(B書くこと②①イ・ウ)
エ 読む能力	1 文章の構成や表現の工夫を押えながら、内容や要旨を的確にとらえている。 (C読むこと②①ウ) 2 環境問題について自分のテーマに合わせて読み広げている。(C読むこと②①カ)
オ 言語についての知識・理解・技能	1 自分の考えを明確にするための様々な文章構成の工夫について理解している。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の(1)イ(イ))

4 指導と評価の計画(全16時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準と評価方法
一	1	・題名から内容を想像し、範読を聞く。初発の感想を書き、交流する。	・初発の感想を交流させ、「環境」や「筆者の思い」や「表現の工夫について」問題意識を持たせる。	アー1 学習課題を決めるために、積極的に話し合いをしている。 【感想交流時の発言及びワークシートの記述内容】
		・学習課題を決め、初	・第1次の交流を基に、	アー1

	2	発の感想をもとに学習計画を立てる。	『SOS！地球の緑を守れ！筆者の工夫を取り入れながら、調べたことを意見文にまとめよう』を設定し、学習計画を話し合わせる。	学習課題を解決する方法や学習の進め方について発言し、自分の課題を明確にしている。 【課題設定時の発言及び学習のめあての記述内容】
	3	・「森林のおくりもの」の文章構成を把握する。	・「森林」「おくりもの」を意味するキーワードをマーキングさせ、内容を基に意味段落に分け、文章の構成をとらえさせる。	エー1 中心となる語に注目し、まとまりごとの内容を押えながら文章の構成をまとめている。 【ワークシートの記述内容】
二	4	・「木材」としてのおくりものについて読み取り、筆者の工夫を見付ける。	・6～19段落の「木材の使い方」について読み取り、多くの事例を提示したり、引用したりして内容を分かりやすくしている筆者の工夫に気付かせる。	エー1 オー1 叙述を基に事例を整理したり、友達と考えを交流しながら筆者の主張や表現の工夫について読み取っている。 【文章の工夫についての発言及びワークシートの記述内容】
	5	・「紙」「火」としてのおくりものについて読み取り、筆者の工夫を見付ける。	・20～25段落の「紙」と「火」について書かれている内容を的確に読み取り、事実（例）に基いて意見を書いたり問いかけの表現で読み手を引き付けたりしている筆者の工夫に気付かせる。	エー1 オー1 叙述を基に事例を整理したり、友達と考えを交流しながら筆者の主張や表現の工夫について読み取っている。 【文章の工夫についての発言及びワークシートの記述内容】
	6	・「森林の3つの働き」について読み取り、筆者の工夫を見付ける。	・26～37段落の「別のおくりもの」について読み取り、「問いかけ」と「答え」をいう述べ方で読み手を引き付けている筆者の工夫に気付かせる。	エー1 オー1 叙述を基に事例を整理したり、友達と考えを交流しながら筆者の主張や表現の工夫について読み取っている。 【文章の工夫についての発言及びワークシートの記述内容】
	7	・「森林のおくりもの」全体から文章構成についての筆者の工夫を見付ける。	・本論を見通し、文章構成の工夫に気付かせる。	エー1 オー1 事例を構成した筆者の意図や工夫について読み取り、ワークシートに整理している。 【文章の工夫についての発言及びワークシートの記述内容】
	8 (本時)	・筆者の考えを読み取り、結論の書き方の工夫を見付ける。	・38～39段落の結論から筆者の主張を読み取り、筆者の考えをまとめながら、結論の述べ方の工夫に気付かせる。	エー1 筆者が訴えたい内容を的確に押えて、条件に合わせてまとめている。 【文章の工夫についての発言及

			びワークシートの記述内容】	
三	9	<ul style="list-style-type: none"> 調べてみたいテーマを決め、計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心のある環境問題についてテーマを決め、問題提起文を書かせることで、問題解決の方法について見通しをもたせる。 	<p>アー1 自分の課題を明確にし、解決の方法について見通しをもっている。</p> <p>【計画書の記述内容】</p>
	課外	<ul style="list-style-type: none"> 課題にそって、資料を読み進めながら、資料を収集・整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「取材メモ」や「付せん」を活用させ、情報を収集・整理させる。 	<p>アー1 ウー1 課題にそって資料を読み広げ、分かったことを「取材メモ」や「付せん」を使って記録している。</p> <p>【取材メモの記述内容】</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> 取材メモを構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「序論」「本論」「結論」の構成や事例を取りあげる順序について工夫させる。 	<p>ウー1 オー1 学習したことを生かし、文章構成を工夫している。</p> <p>【構成メモ・記述の過程の観察】</p>
	11 12	<ul style="list-style-type: none"> 述べ方の工夫を取り入れながら文章をつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取材メモをつなげる接続語や問いかけ文を付け加えながら意見文を書かせ、推敲させる。 	<p>ウー1 オー1 学習したことを生かし、工夫して意見文を書いている。</p> <p>【構成メモ・記述の過程の観察】</p>
四	13	<ul style="list-style-type: none"> 意見発表会（ポスターセッション）の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスターセッションに使うポスターのモデルを示し、ポスターを作らせる。 	<p>ウー1 自分が調べたことが効果的に伝わるように工夫してポスターを作っている。</p> <p>【ポスターの内容】</p>
	14	<ul style="list-style-type: none"> 発表の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスターセッションのやり方を把握させる。 相手意識・目的意識をもたせ、発表の仕方を工夫させる。 	<p>オー1 練習をしながら、自分の考えが伝わるような、話し方を工夫することができる。</p> <p>【練習の様子】</p>
	15	<ul style="list-style-type: none"> 意見発表会（ポスターセッション）をする。 学習を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムに従って、ポスターセッションを行う。 学習の課題を意識させ、自分の意見が相手に伝わるように発表したり、話し手が伝えたいことは何かを考えながら聞いたりさせる。 「森林のおくりもの」の学習を振り返って自己評価し、身に付いた力や今後の課題について確認させる。 	<p>イー2 自分の役割を理解して、ポスターセッションを行ったり、友達の発表を聞いて感想交流を行ったりしている。</p> <p>【発表の様子】</p> <p>【自己評価カードの記述内容】</p> <p>アー1 学習で身に付いた力や課題を整理している。</p> <p>【ワークシートの記述内容】</p>

5 本時の計画（8／16）

(1) 本時の目標

結論の部分を読み要旨にまとめ、述べ方の工夫に気付くことができるようにする。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	指導上の留意点及び評価
1 学習計画を振り返り、本時のめあてを確認し見通しをもつ。	○ これまでの学習を振り返って、本時のめあてをつかませる。
<p>筆者の考えをまとめ、結論の述べ方の工夫をさぐろう</p>	
2 結論部分を読み、筆者の考えの中心となる事柄（要旨）を120字以内にまとめる。	
(1) 結論の部分を音読する。	○ 筆者の考えや述べ方を意識させながら、結論部分を音読させる。
(2) 筆者の考えの表れている言葉や文を見付け、サイドラインを引く。また、選んだ理由や気付きを線の横に書き込む。	○ 「動物の体」で学んだ要旨のまとめ方について確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本論の内容や筆者の表現に目を向けること ・ 筆者の考えが表れている言葉を使うこと ・ 条件に合わせてまとめること ○ サイドラインが引けない児童には、文末表現に着目させ、筆者が言いたいことが書かれていないか考えさせる。 ○ 理由が書けない児童には、今まで学習した内容をまとめたワークシートや掲示物を参考に考えさせる。
(3) 筆者の考えが表れている言葉・文章について、ペア対話で意見交流をする。	○ 隣同士のペア対話では、自分の考えと友達の考えとを比べさせ、加除修正させる。また、友達と確認させることで、自分の考えに自信をもたせる。
(4) 筆者の考えの中心となる言葉・文章について、全体で意見交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者は森林の大切さを訴えたいので、森林を「かけがえのない遺産」だと言っていると思います。 ・ 「感謝しなければなりません」という言葉は、筆者の強い気持ちが表れていると思います。 	○ 全体交流では、発表モデルを提示し、根拠をはっきりさせながら発表させたり、自分の意見を友達の意見に関係付けながら発言させたりする。 ○ 事実と意見を区別しながら読ませる。 ○ 根拠を話し合わせることで、筆者の考えの中心となる事柄（先祖に対する感謝の思いや林業を尊んでいる思い）に気付かせたい。
(5) 交流したことを生かして、要旨をまとめる。	○ 選んだ言葉や文章を組み立て、要旨にまとめさせる。

◆ (評価)

筆者が訴えたい内容を的確に押えて、条件に合わせてまとめている。

【ワークシートの記述内容・発言内容】

3 まとめた要旨を発表し合い、内容を確認する。

4 筆者の述べ方の工夫について話し合う。

- ・ まとめの文を「問いかけ」と「答え」の文にして書いている。
- ・ 文末を強調することで願いを表現している。

5 学習を振り返り、評価する。

○ まとめることができない児童には、お助けワークを渡し、付せんを使って文章に組み立てさせる。

○ キーワードや述べ方に着目すると、筆者の考えに迫ることができることを確認する。

○ 結論を書くときにも、強調表現や問いかけの工夫をすると、読み手に訴える効果があることに気付かせる。

○ 筆者の主張を受けて、自分のテーマを決めることを知らせる。